県指定･赤田臥牛墓

http://digitalarchiveproject.jp/information/県指定･赤田臥牛墓

〈県指定〉昭和 31 年 2 月 24 日
〈所有者〉赤田家
〈所在地〉愛宕町 3174 番地
　　大雄寺裏墓地
〈時代〉江戸時代(19 世紀)
〈員数〉16.5 ㎡
　墓(1 カ所)環石径 9 ㎝、盛り土径 91 ㎝、高さ 30 ㎝

東山大雄寺墓地に赤田家の墳墓がある。東西 3.6m、南北 5.5mの墓域内に石塔 3、小墳 4 が配置されているが、臥牛墳は入口に最も近く、中央に位置し、右に先霊、左に誠軒(嫡孫)、後ろに章斎(嫡子)の墳墓がある。各墳とも同大で、環石を設け、中に盛り土がしてある。誠軒の遺骸は大正 15 年小糸坂からここに移された。章斎墳の右横に修墓の際建てられた標碑がある。

臥牛は名元義、通称を新助と呼んだ。臥牛はその号である。幼少より学問に志し、長じて江村北海の門に入り、最も物(ぶっ)徂(そ)徠(らい)の学風を好んだ。代々一之町に住み醸酒を業としたが、文化 2 年(1805)官許を得て邸内に家塾静修館を開き、初めて釈奠(せきてん)を行なった。文政 5 年(1822)7 月 22 日没、享年 78、法名浄彰。

「臥牛集初編」10 巻は、文政 10 年津野廷賢により刊行された。

参考文献

『高山の文化財』177～178 頁　高山市教育委員会発行　平成 6 年 3 月 31 日

001_①墓への道001

002_①墓への道002

003_①墓への道003

004_①墓への道004

005_①墓への道005

006_②墓地001

007_②墓地002

008_②墓地003

009_②墓地004

010_②墓地005

011_②墓地006

012_②墓地007

013_②墓地008

014_②墓地009

015_②墓地010

016_②墓地011

017_②墓地012

018_②墓地013

019_②墓地014

020_②墓地015

021_②墓地016

022_③墓地・南から001

023_③墓地・南から002

024_③墓地・南から003

025_④墓地・北から・四方001

026_④墓地・北から・四方002

027_④墓地・北から・四方003

028_④墓地・北から・四方004

029_④墓地・北から・四方005

030_④墓地・北から・四方006

031_④墓地・北から・四方007

032_④墓地・北から・四方008

033_④墓地・北から・四方009

034_④墓地・北から・四方010

035_④墓地・北から・四方011

036_⑤墓地全景001

037_⑤墓地全景002